

特集 オリジナルネギ「兵庫N-1号」(ひょうごエヌワン®) !

「兵庫N-1号」(ひょうごエヌワン®)の品種特性

兵庫県下の冬季の新たな特産野菜品目の創出を目指し、下仁田ネギ（子房親）と九条ネギ改良種（花粉親）を交配した中から、葉鞘・葉身が太く良食味のネギ「兵庫N-1号」を育成した。品種特性は分けつが少なく省力的で、6月中旬定植ならば10月中下旬の早期出荷が期待できる。

内 容

冬季の新たな特産野菜品目の創出を目指し、県内のネギ生産において好まれる良食味でコンパクトな青白兼用ネギの作出を狙い、平成17年に品種育成を開始した（図1）。

子房親として、群馬県の特産白ネギである下仁田ネギを使用し、花粉親として、兵庫県農事試験場（当時）において作出した九条ネギ改良種を交配した。この中から育種目標を満たし、形質が安定しているものの選抜を繰り返し、令和2年2月に品種登録出願し、令和6年12月に品種登録された（登録第30670号）。また、その間に愛称を公募し、793件の応募の中から「ひょうごエヌワン」と決定し、令和5年6月に商標登録を行った（登録第6705417号）。

主な品種特性は、青ネギと白ネギの兼用種で、葉身（緑葉部）も、葉鞘（軟白部）も食用となり、いずれも軟らかく良食味である。また、葉鞘径は3cm、葉身径は4cm程度まで太くなり、葉鞘は伸びにくく長くても25cm程度で、分けつが極めて少なく（表）、葉の出方は横に張り出しが大きい牛角状であることが特長である。

栽培面では、地床育苗の5月播種^はで、土寄せ2回程度からコンパクトな姿で販売可能である（図2）。チェーンポット育苗で4月上旬播種、6月上旬定植の作型では10月中下旬から収穫可能になり、早期出荷が期待できることなどが利点である。

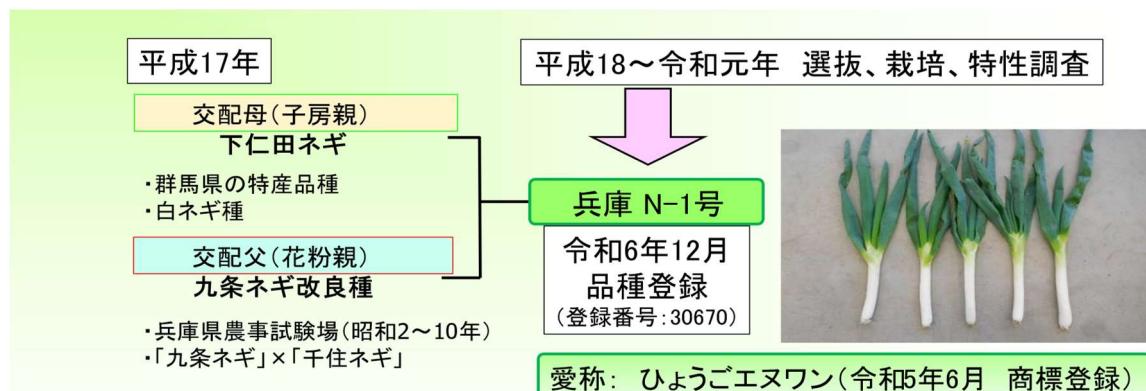


図1 品種育成の経過

表 主な外観品質の比較

系統名品種名	草丈 (cm)	葉鞘長 (cm)	葉鞘径 (cm)	葉身径 (cm)	葉出角度 (度)	調整重 (g)	分けつ率 (%)
兵庫N-1号	91.3	24.9	2.9	3.9	55.5	245.8	0.0
九条改良種	100.0	26.2	2.8	3.2	36.0	231.8	47.8
ふゆわらべ	80.6	24.8	2.7	3.7	41.5	228.6	6.3
下仁田	72.5	23.3	2.8	3.7	56.5	147.4	3.6
ホワイトスター	102.3	28.4	2.9	3.0	32.5	322.0	0.0

播種: R4/5/10 (地床育苗) 定植: 7/29 調査: 12/14

追肥・培土: 9/15、10/4、10/27

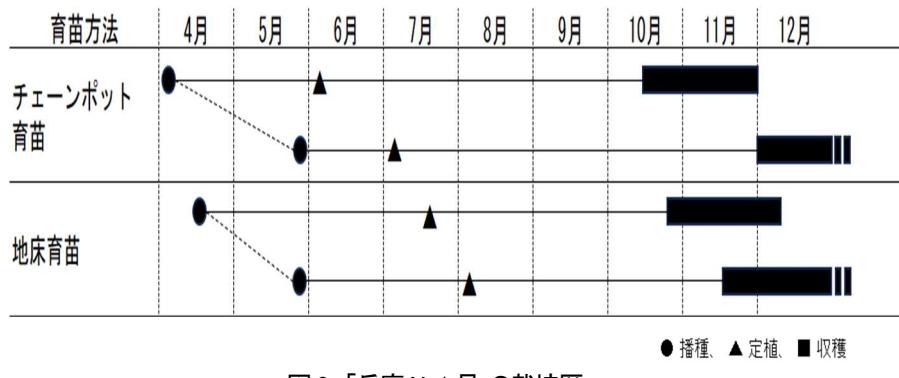


図2 「兵庫N-1号」の栽培暦

今後の方針

今後は、栽培時期や気象条件等の違いが、葉鞘の伸長や冬季草勢などの栽培特性及び貯蔵性などの品質特性に与える影響を明らかにする。これにより栽培・保存法を確立することで、「兵庫N-1号」の普及とブランドの確立及び浸透を目指す。

小谷 良実（北部 農業・加工流通部）